

しおみがおかこうえん  
潮見ヶ丘公園(体育館)の耐震化・老朽化対策の実施により  
利用者や避難者に安全で快適な施設を提供

概要: 潮見ヶ丘公園の体育館の改修・耐震化を実施したことにより、令和7年12月8日の青森県東方沖を震源とする地震において施設被害を防止し、多数の住民の避難場所として効果を発揮。

府省庁名: 国土交通省

- 実施主体: 北海道浦河郡浦河町
- 実施場所: 北海道浦河郡浦河町
- 事業概要: 潮見ヶ丘公園内に配置している体育館は、昭和48年に建設されたものの、築50年以上が経過し、平成29年度の構造等劣化調査により、「大きな地震(震度6強以上)に対して倒壊する危険性が高い」と診断。災害時には最大730人収容可能な指定緊急避難場所であり、建物倒壊がなく安全な場所である必要があるため、長寿命化工事を行うとともに耐震化工事を実施。
- 事業費: 約22億円(令和4~6年度)

■ 災害の外力、被害と効果:  
令和7年12月8日23時15分頃に青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5(浦河町は震度5弱を観測)の巨大地震が発生し、北海道太平洋沿岸中部に津波警報が発令された。当町では「避難指示」を発表し、避難場所となっている体育館には約270人の住民が避難した。幸い津波による被害はなかったが、長寿命化工事と耐震工事の実施により、大規模地震による建物被害及び人的被害を未然に防止し、避難者が安全で快適に利用することができた。



屋根部は弦材・ラチス材等のプレートによる補強

ブレース(筋交い)による補強

○耐震壁の増設による補強やアリーナ部分は主にブレース(筋交い)による補強を実施

